

21 陳情 第18号	信濃町保育園分園に関する陳情
付託委員会	福祉健康委員会
受理及び付託 年 月 日	平成21年9月16日受理、平成21年9月18日付託
陳 情 者	新宿区市ヶ谷薬王寺町————— 代表 ————— 外394名
<p>( 要 旨 )</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新宿区立信濃町保育園分園の継続および3歳児クラスの開設をお願いします。</li> <li>2 閉園理由である再開発計画の詳細・スケジュール等を開示してください。</li> <li>3 待機児童を無くして、母が働ける環境を作ってください。</li> </ol> <p>( 理 由 )</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 現在、待機児童の解消及び母親が働く環境整備等を目的とした子育て支援として保育サービスの拡充を進めていただいていることは承知しております。そして、暫定措置として平成21年4月から「新宿区立信濃町保育園分園」が開園されたおかげで、復職することができ大変ありがたく思っております。 一方、待機児童数は増加の一途をたどっており、母親が働ける環境は十分に整っているとは言い難い状況です。そのような状況を解消し、保育サービスの拡充を図る上で保育施設の増加は必須であると考えます。そのような状況であるにもかかわらず、信濃町保育園分園は平成22年度での閉園を予定しております。また3歳児以上のクラスが設置されないため、本年入園した2歳児は1年限りで退園しなくてはなりません。</li> <li>2 信濃町保育園分園閉園の理由としては、信濃町保育園分園として利用している旧四谷第三小学校を含む地域は再開発地区に指定されており、再開発事業を進行する上で閉園の必要があると伺っております。しかしながら、新宿区のホームページを確認しても、信濃町保育園分園を閉園する理由となっている再開発事業計画について、四谷地区のシンボル拠点の形成する計画があることは開示されているものの、その具体的な内容やスケジュールが確認できません。平成22年度で信濃町保育園分園開園期間の延長ができない場合は、その理由を明確に示して頂きたいと思料致します。また、具体的な再開発計画が決定していない場合は、再開発計画に分園の存続を盛り込むことは出来ないでしょうか。再開発計画に分園の存続を盛り込むことは出来ない場合でも、再開発事業を進行する具合を考慮して、ぎりぎりの時期まで分園を継続していただくことは出来ないでしょうか。せっかく開設された分園です。設備も(小さな子供用のトイレ、手洗いの流しなど)お金をかけて整えて頂いたばかりです。閉園理由は保育園に掲示して保護者に開示するとともに、区のホームページに掲載するなど近隣の子育て世帯にも周知を図って頂きたいです。</li> <li>3 転園先を探していますが、待機児童が多く見込みが無いのが現状です。保育園難民にな</li> </ol>	

る将来を考えると希望が持てず、日々暗い気持ちになり、いてもたってもいられません。希望の無い日々は辛いです。笑顔の無い家庭は子どもにとっても辛く悲しいものです。

4 子どもの成育に大きな影響をもつこの環境を短期間で無くしてほしくありません。入園当初、親も子も不安を抱えて、戸惑ったり泣いたりしていましたが、ようやく生活のペースを作りあげたてきたところです。お友達と先生方との生活に慣れ始めて、お互いに名前を覚え、呼び合ったり、手をつないだり、顔を見合わせて声を立てて笑ったり、保育士さん達の懸命の努力で過ごしやすい空間が出来始めています。子ども達と保育士さんの信頼関係もようやく安定してきたところなのです。園に通う他の保護者の方とも話をしました。「なんとかならないかしら…」切実な思いです。

5 生活をするために母親が働ける環境をどうかなくさないでください。保育園が無くなれば仕事を続けることはできず、またこの不景気の中、再就職は非常に困難です。母親達は働けなくなってしまいます。納税の重さ、生活の苦しさ、そして母と子だけの孤立した育児環境が重くのしかかり、不安に心まで苦しくなります。

6 分園の継続に人手不足の問題があるならば、シルバー人材の活用や、保護者によるサポートの活用もご検討いただきたいと提案申し上げます。保護者によるサポート内容としては、当番制度を設け保育士さんのお手伝いやお掃除を行うことなどを考えています。

できる範囲ではありますが、お願いするばかりでなく、保護者も協力してこの問題の解決策を一緒に考え、実行する努力をいたします。